

# しなの鉄道沿線地域公共交通活性化・再生総合事業

事業期間  
22～23年度

地域全体の公共交通の維持・安定、さらには効果的かつ効率的で持続可能な公共交通システムを実現するため、沿線地域が一体となって、公共交通機関の中で基幹的な位置にあるしなの鉄道の経営の安定化を図る。

## 【しなの鉄道活性化協議会】

長野市、上田市、小諸市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、坂城町、長野県、長野商工会議所、上田商工会議所、小諸商工会議所、佐久商工会議所、千曲商工会議所、軽井沢町商工会、御代田町商工会、東御市商工会、坂城町商工会、しなの鉄道沿線観光協議会、沿線住民代表、しなの鉄道(株)

## 事業の概要(22年度)

※数字は事業費

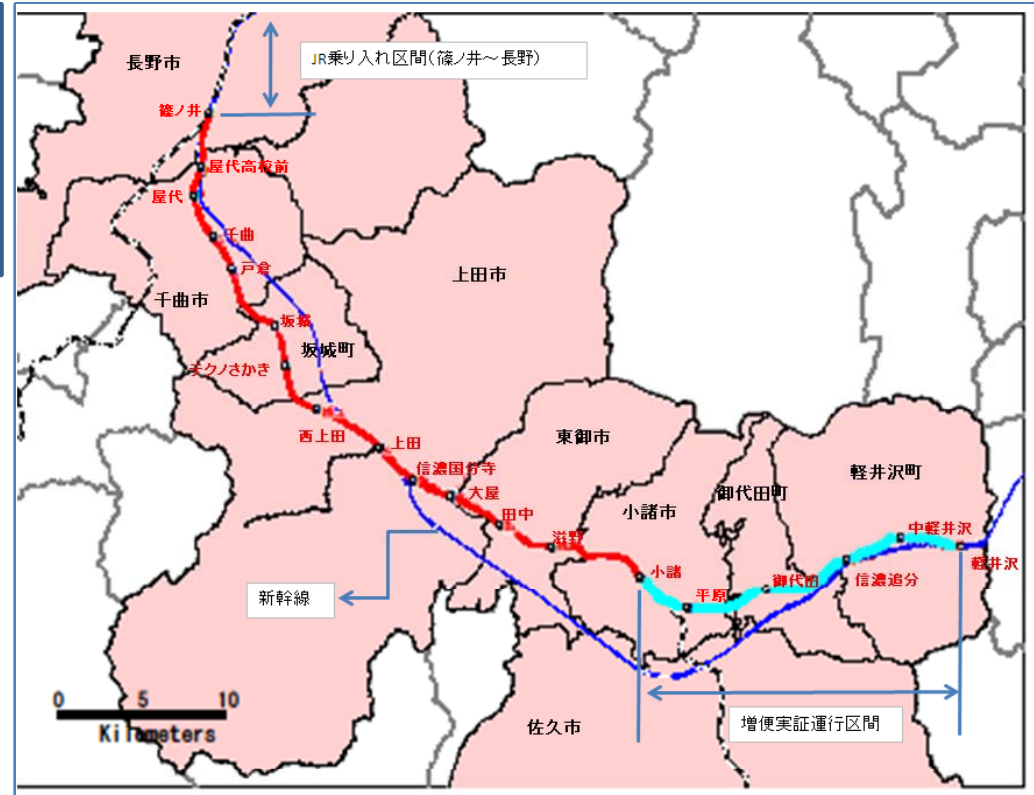
### 軽井沢・小諸間の増便及び軽井沢駅での接続改善

**24,269千円** 運行本数を14本増便し、軽井沢駅における新幹線への接続を改善することで潜在の需要の喚起を図る。

#### しなの鉄道時刻表

8月1日ダイヤ改訂  
軽井沢～小諸間増便

区間	列車種別	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
軽井沢	上野	10:00	10:10	10:10	10:20	10:20	10:30	10:30	10:40	10:40	10:50	10:50	11:00
軽井沢	上野	11:00	11:10	11:10	11:20	11:20	11:30	11:30	11:40	11:40	11:50	11:50	12:00
軽井沢	上野	12:00	12:10	12:10	12:20	12:20	12:30	12:30	12:40	12:40	12:50	12:50	13:00
軽井沢	上野	13:00	13:10	13:10	13:20	13:20	13:30	13:30	13:40	13:40	13:50	13:50	14:00
軽井沢	上野	14:00	14:10	14:10	14:20	14:20	14:30	14:30	14:40	14:40	14:50	14:50	15:00
軽井沢	上野	15:00	15:10	15:10	15:20	15:20	15:30	15:30	15:40	15:40	15:50	15:50	16:00
軽井沢	上野	16:00	16:10	16:10	16:20	16:20	16:30	16:30	16:40	16:40	16:50	16:50	17:00
軽井沢	上野	17:00	17:10	17:10	17:20	17:20	17:30	17:30	17:40	17:40	17:50	17:50	18:00
軽井沢	上野	18:00	18:10	18:10	18:20	18:20	18:30	18:30	18:40	18:40	18:50	18:50	19:00
軽井沢	上野	19:00	19:10	19:10	19:20	19:20	19:30	19:30	19:40	19:40	19:50	19:50	20:00
軽井沢	上野	20:00	20:10	20:10	20:20	20:20	20:30	20:30	20:40	20:40	20:50	20:50	21:00
軽井沢	上野	21:00	21:10	21:10	21:20	21:20	21:30	21:30	21:40	21:40	21:50	21:50	22:00
軽井沢	上野	22:00	22:10	22:10	22:20	22:20	22:30	22:30	22:40	22:40	22:50	22:50	23:00
軽井沢	上野	23:00	23:10	23:10	23:20	23:20	23:30	23:30	23:40	23:40	23:50	23:50	24:00



### 企画列車運行・企画切符

**7,985千円**

湘南色に復元した169系車両による各種企画列車の運行。



### 駅周辺駐車場情報提供

**4,932千円**

しなの鉄道沿線の駐車場情報を発信し、パークアンドライドを推進。



### 車内中吊り広告による沿線イベント情報発信

**1,495千円**

列車内中吊り広告に沿線の観光・イベント情報を掲載。



## 22年度 導入への プロセス

しなの鉄道の利便性向上等活性化・再生に向けた検討を行うことを目的として設立した「しなの鉄道再生支援協議会」を前身とし、平成21年2月に「しなの鉄道活性化協議会」を設置した。

平成22年2月には、輸送人員の減少に歯止めをかけるべく、沿線市町が策定する交通の基本計画との調和を図りつつしなの鉄道総合連携計画を策定した。

しなの鉄道総合連携計画策定にあたっては、沿線住民、利用者、来訪者へのアンケート調査及び企業ヒアリング調査を実施し、実施事業の絞り込みを行った。

「旅客サービスの向上」、「地域との連携」、「駅及び駅周辺の活性化」について、しなの鉄道単体では実現できない事業を協議会を通じて実施可能となったことにより、公共交通の社会的な役割を地域に強くアピールすることとなった。

## 22年度 事業の 効果

### 利用者減少に歯止め

➢H21. 8～H22. 2の軽井沢～小諸間の乗車人員は1,009千人、増便運行後のH22. 8～H23. 2の同区間の乗車人員は1001千人と前年比99.2%であった。(H23.3分は震災の影響があるため対象期間から除外)

➢軽井沢～小諸間を除く乗車人員が4,835千人から4,782千人と前年比98.9%であることから、増便による効果により減少幅を抑えることができた。

### 潜在需要の掘り起こし

➢復活を望む声に応える形で、再度実施した169系車両の塗色変更は、しなの鉄道ならではの商品設定を可能とし、これを利用した企画列車の運行は毎回定員を超えるものとなった。

➢全国的なファンを持つこの列車の運行により、県内のみならず、全国からの旅客の沿線地域への来訪をみることもできた。

### 地域イベントとの連携による利用促進

➢広告料を徴収せず、印刷費等の実費のみで車内中吊り広告を掲出し、沿線の観光・イベント情報を発信した。信州DC期間前のニーズと重なり、積極的な活用実績をみた。

➢情報発信による利用促進効果も去ることながら、賑やかさ演出の役割も果たした。

### 駐車場情報提供による利用促進

➢パーク&ライドを推進するにあたっては、拠点となる駅周辺の駐車場の有無の情報が必須であることから、沿線駐車場マップを作成した。沿線イベント参加者への配布により、パーク&ライド推進を図ることができた。

22年度に作成したツールを活用し、年間輸送人員1千万人以上確保のためのローラー作戦を行っていく。

「しなの鉄道(株)」・・・連携・・・「沿線自治体関係団体等」

(1)企業へのローラー  
従業員のマイカー通勤への転換要請  
・駅周辺駐車場マップの活用

(2)学校へのローラー  
通学利用、遠足・社会見学利用要請  
・駅からウォーキングマップの活用

(3)旅行・観光団体へのローラー  
旅行商品にしなの鉄道の組み入れ要請  
・沿線観光資源発掘

## 次年度 以降